

施策評価シート (平成22年度の振り返り、総括)

作成日 平成23年 04月 07日

施策 No.	4	施策名	治水対策の推進
主管課名	建設課	電話番号	0285-83-8149
関係課名	都市計画課、区画整理課、環境課、農政課、安全安心課、下水道課		

施策の対象	・河川と雨水幹線 ・河川流域の住民及び財産								
対象指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度見込
河川数	本				7	8	8	8	8
雨水幹線数	本				16	20	20	20	20
流域面積	平方 km				111.76	167.21	167.21	167.21	167.21

施策の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・河川整備の促進 ・雨水幹線の整備推進 								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	河川と雨水幹線の整備率 河川と雨水幹線整備計画に対する整備率								
成果指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度 基本計画目標値
河川改修率	%				86.9	88.2	83.4	83.4	88.2
雨水幹線の整備率	%				86.7	88.3	88.3	88.3	88.9

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	河川と雨水幹線の整備は行政の役割である。
-------------------------	----------------------

22年度の 評価結果	<p>1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を流れる国管理の鬼怒川、小貝川、県管理の江川、行屋川、大久保川、市管理の井頭川及び西川は、整備水準に差異はあるが、現在の計画による整備率は100%である。 ・県管理の五行川は、真岡市街地部を現在より約70cm掘り下げる計画があるが、実施時期は未定であり、現在の整備率は48.1%である。 ・五行川二宮遊水地は、平成4年度から整備事業に着手し、右岸側A池11haの整備が平成19年度に完了、現在は左岸側B池29haの整備を実施している。 ・雨水幹線は、全体計画20幹線のうち15幹線が整備済となっており、未整備5幹線のうち、2幹線の整備を実施している。 ・異常気象による道路等の冠水が多くなった。
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・長田第5排水区の雨水管渠整備を実施している。 ・高間木第2排水区で、調整池Aの整備が完了し、調整池B・Cの整備に着手した。 ・江川第2幹線（八木岡・伊勢崎雨水調整池）の整備を実施している。 ・第1工業団地内の道路冠水解消のため、松山町浸水対策事業に着手した。 ・亀山北土地区画整理事業地内で、歩道部の透水性舗装を実施している。

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・ 五行川の遊水地等の河川整備を促進する。
- ・ 雨水幹線の整備は継続して実施する。
- ・ 第1工業団地内の道路冠水解消対策を推進する。
- ・ 雨水流出抑制型施設の設置を推進する。
- ・ 森林、水田の自然保水機能を維持していく。

22年度の
評価結果

補足事項